

# きみつ市議会 だより

# 164号

令和8年5月1日発行

## CONTENTS

- 2 第1回定例会のあらまし
- 4 議案等の審議結果
- 5 一般質問Q&A  
(代表質問、個人質問)
- 10 委員会の焦点
- 12 予算審査特別委員会の概要



## 第1回定例会

発行／君津市議会  
編集／きみつ市議会だより  
編集委員会



## 地域共生社会実現のための提言を行いました



君津市  
マスコットキャラクター  
きみぴよん

近年、高齢化や人口減少が進み、地域・家庭・職場といった人々の生活領域における支え合いの基盤が弱まってきています。また、個人の抱える課題の複雑化、多様化により、複合的な支援を必要とする状況が顕在化しています。こうした課題に対し、本市議会では地域共生社会推進特別委員会を設置して調査研究を行い、その成果として3月12日に「地域共生社会」を実現するための提言書を市長に手渡しました。

# 第1回定例会のあらまし

令和8年度一般会計予算など

## 議案40件、 陳情1件を議決

第1回定例会は、2月17日から3月25日までの37日間の会期で開かれ、定例会の冒頭に市長から令和8年度の施政方針演説がありました。

今定例会では、令和8年度 君津市一般会計予算など市長提出の40議案と陳情1件を審議し、慎重審議の結果、陳情については不採択とし、議案については原案のとおり可決・同意されました。

一般質問では、各会派の代表質問と個人質問が行われ、代表質問では5会派11人が、個人質問では4人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

主な日程

第1回定例会（2～3月）	
2/17(火)	本会議（招集日） 会期の決定、市長の施政方針、議案の上程、一部議案の採決・委員会付託 など 総務常任委員会
18(水)	建設経済常任委員会 教育福祉常任委員会
26(木)	本会議 付託議案の委員長報告・質疑・討論・採決、予算審査特別委員会の設置、委員会付託 など
3/5(木)	本会議 一般質問
6(金)	本会議 一般質問
9(月)	本会議 一般質問、追加議案等の委員会付託 など
10(火)	教育福祉常任委員会
11(水)	総務常任委員会
12(木)	建設経済常任委員会
16(月)	予算審査特別委員会
17(火)	予算審査特別委員会
18(水)	予算審査特別委員会
25(水)	本会議（最終日） 付託議案の委員長報告・質疑・討論・採決、追加議案の審議、地域共生社会推進特別委員会の調査報告 など

❖ 反対

## 本会議における主な討論

❖ 賛成

家庭等から排出される一般ごみは各自治体内で処理するべきと考えるため、事業の広域化に反対する。

- ・公民館等の公共施設の管理運営費の減額に反対する。
- ・ボールパーク整備に係る債務負担行為について、大規模な盛り土や地盤改良を行う開発は地域の治水バランスを劇的に変化させること、公式戦が行われない日の活用計画が不透明であり、経済波及効果の算出の精度が低いと思われることなど、検証・検討が不十分と考えるため、反対する。

議案第29号

第2期君津地域広域  
廃棄物処理事業に係  
る変更契約の締結に  
ついて

議案第32号

令和8年度君津市  
一般会計予算

- ・各事業の内容の見直しにより経常的経費の削減が図られていること、歳入規模に見合った予算編成を基本としつつも、ボールパーク整備をはじめとした「未来への投資」をまちづくりの重点としていることは評価できる。
- ・ボールパーク整備に係る債務負担行為については、事業を円滑に進めるため必要な措置であると理解する。金額等については、基本計画策定の折に改めて判断すべきであり、現状では、整備事業者選定等に向け予算を認め、事業を進めるべきと考える。

# 一般会計補正予算

主な事業を  
紹介します

今定例会では、君津市一般会計補正予算（第9号）に係る議案の審議を行いました。主な事業は以下のとおりです。

## かずさ水道広域連合 企業団出資金等

3億3,054万円

かずさ水道広域連合企業団における決算見込みによる減額及び国からの補助金の追加内定に伴う増額を併せて調整します。



## デジタル基盤改革 関係事業

▲2億2,400万円

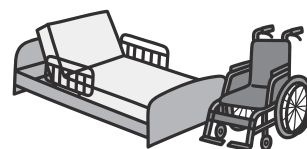
基幹業務システムの標準準拠システムへの移行が延伸となったことによる不用額を減額します。



## 障害福祉サービス費 支給事業

3億2,962万円

障害福祉サービスの支給件数、支給額が当初の見込みを上回るため増額します。



## 特別委員会の調査結果を報告します

### 地域共生社会推進特別委員会

#### ■主な活動内容

- 市や君津市社会福祉協議会の地域共生社会推進に関する基本目標や取組内容の調査
- 地区社会福祉協議会の役員との意見交換
- 委員で課題テーマを設定し、グループごとに調査研究を行った成果を盛り込んだ提言書を市長に提出

#### ■提言書の主な内容

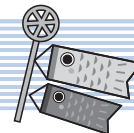
- 成年後見制度等、老後の安心づくりに関して、本人の判断力がある段階から信頼関係を構築できる安心生活創造事業を実施。
- 住まいのセーフティネット構築に関して、住宅施策と福祉・医療・交通を連携させ、住まいと通院の支援を一体化することや、居住サポート住宅認定制度を活用し、見守りや訪問支援などのアウトリーチ型支援を導入。など

- 本特別委員会は調査を終了し、定例会最終日（3月25日）に解散しました。調査報告書については、市議会ホームページに掲載しています。



人事案件  
に同意

- ◆人権擁護委員 一法師 雅 巳（南子安2丁目）  
立川 浩 子（三直）
- ◆教育委員会委員 黒川 倫 行（俵田）
- ◆固定資産評価員 草 薊 祐 一（杉谷）



## 出席議員全員が賛成した議案（全会一致）

### ◆市長提出議案

議案番号	件名	議案番号	件名
議案第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議案第17号	君津市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
議案第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議案第18号	君津市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について
議案第3号	君津市学校給食費の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第19号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第4号	君津市神門コミュニティセンターの指定管理者の指定について	議案第21号	君津市重度心身障害者（児）福祉手当支給条例の一部を改正する条例の制定について
議案第5号	君津市貞元コミュニティセンターの指定管理者の指定について	議案第22号	君津市精神障害者医療費給付条例の一部を改正する条例の制定について
議案第6号	君津市松丘コミュニティセンターの指定管理者の指定について	議案第25号	君津市自然保護及び緑化の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第7号	君津市南子安コミュニティセンターの指定管理者の指定について	議案第26号	君津市清和地域拠点複合施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第8号	君津市亀山コミュニティセンターの指定管理者の指定について	議案第27号	君津市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第9号	君津市小糸スポーツ広場の指定管理者の指定について	議案第28号	君津市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
議案第10号	君津市物産館の指定管理者の指定について	議案第30号	市道路線の認定について
議案第11号	君津市久留里観光交流センターの指定管理者の指定について	議案第31号	市道路線の変更について
議案第12号	令和7年度君津市一般会計補正予算（第8号）についての専決処分の承認を求めることについて	議案第36号	令和8年度君津市農業集落排水事業会計予算
議案第14号	令和7年度君津市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	議案第37号	君津市学校給食費の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第15号	令和7年度君津市介護保険特別会計補正予算（第3号）	議案第39号	教育委員会委員の任命について
議案第16号	令和7年度君津市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	議案第40号	固定資産評価員の選任について

## 賛否の分かれた議案等

### ◆市長提出議案

議案番号	件名	議決結果	議員																				
			小倉 靖幸	大和ヒロシ	天笠 等	鶴岡 一成	三浦 章	小林喜久男	下田 剣吾	保坂 好一	高橋 明	大滝 浩介	四宮 安彦	鈴木 高大	満武 琢也	石上 壘	松本裕次郎	高橋 健治	佐藤 葉子	野上 慎治	林 祥子	小倉 広紀	三浦 道雄
議案第13号	令和7年度君津市一般会計補正予算（第9号）	○可決	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	君津市公民館の設置及び管理に関する条例及び君津市地域交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	君津市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	君津市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	第2期君津地域広域廃棄物処理事業に係る変更契約の締結について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	令和8年度君津市一般会計予算	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	令和8年度君津市国民健康保険特別会計予算	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	令和8年度君津市介護保険特別会計予算	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	令和8年度君津市後期高齢者医療特別会計予算	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	令和8年度君津市一般会計補正予算（第1号）	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### ◆陳情

陳情番号	件名	議決結果	議員																				
陳情第2号	東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	●不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わりません。

表の見方 ○：賛成 ●：反対

## 一般質問

# Q & A

第1回定例会において、代表質問では5会派11人が、個人質問では4人の議員が質問を行いました。

各議員の質問の大綱については下記のとおりです。(通告順) マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています。

なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

### 代表質問

#### 令和新政

P.6

天笠 等 議員

- ・施政方針について
- ・総合計画について
- ・JR久留里線について

関連質問 大和 ヒロシ 議員  
鶴岡 一成 議員

#### きみつ未来

P.7

石上 壘 議員

- ・令和7年度実施計画について
- ・令和8年度施政方針について

関連質問 満武 琢也 議員

#### 公明党

P.8

野上 慎治 議員

- ・君津の未来を拓くボールパーク事業について
- ・子ども達の未来を拓く教育の充実について
- ・安心安全に暮らせる強靱なまちづくりについて
- ・誰もが安心して移動できる交通体系について
- ・誰一人取り残さない君津市の実現に向けて

関連質問 高橋 健治 議員  
佐藤 葉子 議員

#### 麒麟

P.6

下田 剣吾 議員

- ・市長公約について
- ・所信表明と施政方針について
- ・予算編成について
- ・人事について
- ・医療について
- ・教育について

#### 明政会

P.7

四宮 安彦 議員

- ・市政運営の基本的な考えについて

関連質問 鈴木 高大 議員

#### 小倉 広紀 議員

P.9

諸派・改革きみつ

- ・施政方針について
- ・教育行政について
- ・健康都市について
- ・防災力の維持について

#### 大滝 浩介 議員

P.9

明政会

- ・経済と環境が調和したまち
- ・安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち
- ・日本一チャレンジする市役所

### 個人質問

#### 林 祥子 議員

P.8

諸派・希望にみらい

- ・健康被害が出ているワクチン接種について
- ・JR久留里線について
- ・開かれた市政について
- ・安心安全な食の取組について
- ・財政について

#### 三浦 道雄 議員

P.9

諸派・日本共産党

- ・令和8年度の施政方針について

録画配信を  
ご覧頂けます

一般質問のページでは氏名下部の二次元コードから各議員の一般質問の録画配信ページに移動できます



議員名





令和新政  
あまがさ  
天笠 等 議員  
ひとし

録画配信



### 市政運営の基本的な考え方

**Q** 限られた財源や人材を生かすつつ、選択と集中による資源配分により施策を推進することのだが、市政運営の基本的な考え方と市民生活への影響について伺う。

**A** 真に必要な施策を見極めること、事業効果を客観的に検証し不順に見直すこと、将来にわたり持続可能な財政運営を徹底すること、これらを実行すること。選択と集中とは単なる歳出削減ではなく、効果が高く、市民生活の質の向上や将来への投資につながる分野へ重点的に資源を投入するとともに、守るべき市民生活は守り抜くことと考えている。

### ボールパークによるまちづくり

**Q** ボールパークを単なるスポーツ施設に留めず、稼ぐインフラとしてどう機能させ、本市全体の地域経済を活性化させるのか伺う。

**A** ボールパークを中心とした新たな商業圏の誕生に期待するとともに、ボールパークを南房総におけ

る新たな観光ハブとして位置づけ、試合のない日も様々なイベントを実施し市内外からの人の流れを生むことによる地域発展を目指す。

### 誰もがいきいきと生活できるまち

**Q** 高齢者、要介護者や障がい者への支援を提供する環境整備や人材確保の取組を伺う。

**A** 君津市地域共生社会推進プランに基づき、福祉相談支援センター、各地区の地域包括支援センター、障害者基幹相談支援センター、子ども家庭センターなどによる支援や、市民等を対象にした、介護に関する入門的研修や介護職員初任者研修の受講費補助等を実施している。

関連質問 大和ヒロシ 議員



▼有害鳥獣対策について  
▼保育環境の整備について

関連質問 鶴岡 一成 議員



▼放課後の子どもの居場所づくりについて  
▼久留里線沿線地域の活性化について



麒麟  
しもだ  
下田 剣吾 議員  
けんご

録画配信



### 野球場や大学より子どもの安全

**Q** ロッテ2重整備150億円の寄附や補助金を除いた内訳を伺う。

**A** 市債97億円、市の一般財源は約10億円を予定。球団も応分の負担をする予定である。

**Q** スポーツ大学への8億円と野球場に使う市債の利子負担を伺う。

**A** いずれも利率は決まっていないが、大学は7億4千万円起債し、利子約2億円、野球場は97億円起債し、償還額を120億円程度と試算している。

**Q** 市長は施政方針で野球場と8億補助してできる大学は「刺激や幸福を生み続ける負担でなく資産」と言ったが、10億円もの予算が削減された。周南中の事故について伺う。

**A** 令和8年1月、2年生の教室の欄間が落下、生徒が負傷した。老朽化した学校がそのままから生徒が負傷した。こどもの命より大事なものがない。公民館の壊れているトイレや手洗い水栓等を直したか伺う。

**A** 現時点では使用中にしていない。修繕はしていない。

**Q** 壊れていたら直すのが当たり前。石井市長は3年前、選挙公約で公民館を建て替えると書いたが、なぜ約束を守らないのか伺う。

**A** 建設費高騰の中、何が最適なかを総合的に判断する。

**Q** 安全面や雨漏りなどで使用停止にしている施設について伺う。

**A** 南子安小、小櫃小、小糸公民館の一部、久留里城天守閣など。

**Q** このような中、人口が減り続けている。石井市長が就任してからの本市の人口の変化を伺う。

**A** 市長に就任した平成30年10月の8万5,062人から令和8年1月末まで、6,458人の減少。

#### 石井市長就任時からの人口

85,062人(平成30年10月末)	
↓	
78,604人	6,458人の減
木更津市	1,383人の増
袖ヶ浦市	2,435人の増
	※同じ期間 下田作成

**Q** 職員の退職について、市長就任からの早期退職の状況を伺う。

**A** 理由は様々だが、役職定年を機に退職した方も含め164名。



きみつ未来  
いしがみ  
石上 塁 議員

録画配信



重点取組施策

**Q** ボールパーク整備推進事業、内みのわ運動公園リニューアル事業の進捗状況と私立大学施設整備補助事業の今後の展開について伺う。

**A** ボールパーク整備は、球団と施設機能等について検討中で、整備基本計画を取りまとめ公表予定。費用面は一般財源の極小化とともに、あらゆる財源の確保に努め、持続可能な形で事業を進める。内みのわ運動公園は、「使われ活きる公園」への再生を目指し、民間活力を活用した整備を進め令和10年4月の開園に向け魅力ある空間づくりに取り組む。私立大学君津キャンパスは、令和9年4月の開校を目指し準備中。若年層の流入による地域活性化を図る。3つの施策の相乗効果により将来都市像の実現につなげていく。

経済と環境が調和したまち

**Q** 環境施策として、新たな法定外税導入に向けた取組状況を伺う。

**A** 産業廃棄物処分場の増設や新たな立地の抑制と、処分場起因の

行政需要等に対する財源確保施策として検討。具体的な制度設計を進め、税条例の策定を目指す。

ともに創る次世代につながるまち

**Q** 行政需要が多様化する中で個別施設計画の見直しが必要、今後の展開を伺う。

**A** 建築コストの上昇を反映し見直したところ、現行の計画から事業費が2倍を超える見込み。全体事業費の大幅縮減が必要で、施設の劣化や利用状況、維持管理コスト等を改めて分析し、方向性や事業の実施時期を見直す。



関連質問 満武 琢也 議員

▼赤ちゃん応援パック事業について  
▼ICTを活用した教育環境について

▼子ども誰でも通園制度について  
▼児童発達支援センターとの連携について  
▼交通安全対策について  
▼地域づくり協議会について



明政会  
しみや  
四宮 やすひこ  
安彦 議員

録画配信



経済と環境が調和したまち

**Q** 企業版ふるさと納税は本市の歳入を爆発的に増やしている。チャンスであると考え。寄附を募る上で、職員・議員に共通理解が必要だと考えるが、制度の概要を伺う。

**A** 企業版ふるさと納税は、企業が地方公共団体の地方創生事業に寄附を行った場合に、企業側の実質的な負担はおおむね1割程度となり、企業側は社会貢献を通じた企業価値の向上につなげることが出来る制度。  
**Q** 仮にファーム本拠地をロッテ側が整備した場合の固定資産税額は約1億3千万円。その分と借入金や利子の返済も合わせて年間7億円程度の使用料を頂かないとマイナス資産となりかねないが、使用料をどのくらい頂く予定であるのか伺う。

**A** 現在の試算では整備費150億円に金利等を合わせた中から、補助金や寄附を考慮し、球団側の負担については6割程度を見込んでいる。  
**Q** 直接的な税収の増加を見込めない私立大学の誘致に対し、土地の無償譲渡や修繕費の補助を借入を

してまで支払おうとしている。直接的な収入がない中でどのように返済していくつもりであるのか伺う。

**A** 財政負担の平準化と世代間の負担の公平という観点から市債を活用する。学校法人から直接的な歳入はないものの、将来にわたって教育、経済、社会的な効果を期待している。

快適で安心して暮らせるまち

**Q** JR久留里線はその地域の住民にとってシビックプライドの最たるものと考えているが、住民の喪失感をどのように考えているのか伺う。

**A** 久留里線は単なる交通手段にとどまらず、地域の歴史や日常と結びついた存在で、無くなることの喪失感は決して小さくないと考えている。



関連質問 鈴木 高大 議員

▼市長公約のにぎわいを創るについて  
▼特別職の人員費について  
▼ボールパーク整備推進事業について



公明党  
野上 慎治 議員

録画配信



ボールパーク事業を君津の未来を拓く事業に！

**Q** 市を活性化させるためのボールパーク事業が財政破綻を招いては本末転倒だ。その経済効果、税収増について伺う。

**A** ボールパークの整備費は、現時点で約150億円を見込んでおり、財源内訳としては、国からの交付金や補助金が約45億円、起債が約97億円、残りの約10億円を市の一般財源として想定している。この一般財源分には、個人版ふるさと納税や企業版ふるさと納税など多様な手法により財源確保に努める。経済効果については、提案時における試算では、整備期間中は約300億円、2030年の供用開始以降については、年間約19.5億円を見込んでいる。さらに、選手や関連施設で働く従業員の居住による住民税の増収など、ボールパークを核としたまちづくりに伴う税収面での波及効果も見込まれる。

ボールパーク周辺の開発推進を！

**Q** 開発のグランドデザインを早期に示し、官民一体となって取り組むべきと考えるが、見解を伺う。

**A** ボールパークの建設予定地は、君津駅から徒歩圏内にあり、大きな可能性を有するエリアである。施設の整備により得られる効果を、周辺地から市全体へ、そして南房総全体に広く波及させたいと考えている。



関連質問 高橋 健治 議員

▼地域防災力向上について  
▼地震による火災対策について



関連質問 佐藤 葉子 議員

▼単身高齢者等への支援について  
▼子育て世代への切れ目のない支援について  
▼障がいのある方への支援について

▼上総・小櫃地区の交通利便性向上について  
▼上総・小櫃地区以外でのデマンド交通導入について



諸派・希望にみらい  
林 祥子 議員



録画配信

JR久留里線

**Q** JR東日本と結んだ基本合意書には、運行費用に係る拠出とは別に地域貢献も含まれているが取組を伺う。

**A** 今後は合意に基づき代替交通の整備を着実に進めるとともに、沿線地域の活性化につながる取組をJR東日本と連携しながら推進していく。

学校給食

**Q** 給食のだしはどのようなものを使用しているか。また、牛乳が体に合わないという児童生徒への対応を伺う。

**A** かつお節やいわし節などを原材料としただしパックを使用しており、安全性の高いものとなっている。また、牛乳は飲用が難しい児童生徒には無理に飲用させないなど個別に対応している。

老朽化が進む道路インフラ

**Q** 150億円という大規模な事業に加え、建設費も高騰しているが、市の財政は全体として縮小している。老朽化した道路などのインフラ整備について伺う。

**A** 損傷の進行度合いなどを考慮し、優先順位を定めて修繕を実施しているほか、利用実態がない行き止まり道路などは地元と協議の上、通行止め措置を講じている。限られた予算の中で国の補助金を活用して長寿命化修繕計画に基づいた修繕に努めていく。

議会本会議を  
配信して  
います！



本会議のライブ配信・録画配信を行っています。また、本会議の翌日（土日祝日を除く）に速報版として無編集の録画映像を見ることができます。ぜひご視聴ください。

※速報版は無編集の映像となっています。本会議後おおむね7日以内に議事日程や一般質問の議員ごとに編集した映像への切り替えを行います。配信内容は公式記録ではありません。視聴の際は、配信ページ内の注意事項を必ず確認してください。※スマホ・タブレットからもご視聴いただけます。通信費は利用者の負担になります。



議会配信は  
こちらから



明政会  
おおたき  
**大滝**

こうすけ  
**浩介**  
議員



▲録画配信

保育士に選ばれるまち

**Q** 県の保育士修学資金貸付制度の本市の利用者は4年度5件、5年度6件、6年度10件。木更津市、富津市では独自に導入している。本市での導入に向けた検討課題を伺う。

**A** 近隣市では、貸付を受けても養成施設卒業後、保育施設に従事しない方も多く、制度による効果を分析し、慎重に検討していく。

小学校の適正規模

**Q** 8年度に適正規模に満たない小学校は5校。適正規模の基準と、清和小、上総小、小櫃小の入学予定者数を伺う。

**A** 子どもが切磋琢磨できる環境、クラス替えできる環境で12学級から18学級が基準。入学予定者は清和小0名、上総小14名、小櫃小18名。

**Q** 学校行事などを近隣小学校と合同で行い、集団的な活動を行える規模にすることも必要と考えるが、見解を伺う。

**A** 教育課程編成は各学校の地域や児童、生徒の実態に合わせ校長が行う。創意工夫の中で教育効果を上げられるよう編成していく。

**Q** 現時点で適正規模を満たしていない学校について、今後の考え方を伺う。

**A** 国の基準は地域の特段の事情がある場合は、柔軟な対応ができる。適正規模にとらわれず、地域の実情等を鑑み、学校の特色を生かし、活力ある学校づくりを進める。



諸派・日本共産党  
みつうら  
**三浦**  
道雄

議員



▲録画配信

JR久留里線の存廃問題

**Q** JR久留里線(久留里から上総亀山間)の鉄道事業廃止届を年度内に行うことについて、定例記者会見での市長の「大変残念に思っている」とのコメントの真意を伺う。

**A** 久留里線の果たしてきた役割を踏まえるとともに久留里線を通勤で利用していた経験などもあり、思いを率直に申し上げた。同時に行政の長として現実を冷静に受け止め、住民生活に支障が生じないよう着実に対応していくことが何より重要と考える。

**Q** 君津市とJRの基本合意の中でJR側は、鉄道とバスの乗り換え点である久留里駅では、駅東西のロータリーをつなぐ歩行者通路を新設することのだが、どのようなイメージか伺う。

**A** これから本格的なところは詰めて行く予定だが、線路の上を通すか、下を通すか、そのまま線路を横断するなど協議していく。

学校給食費完全無償化

**Q** 小中学校とも令和8年4月から実施する学校給食費無償化について伺う。

**A** 学校給食費の無償化は、恒久的な制度として国の負担により取り組むべきもの。公立小学校給食費無償化は、国の制度として本市でも4月に始まる。中学校については、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和8年度に実施を予定している。



諸派・改革きみつ  
おくら  
**小倉**  
広紀

議員



▲録画配信

定住促進をしっかりと

**Q** 定住につながる、君津の魅力を高めるような施策を進めるべきだと考えるが、見解を伺う。

**A** ボールパーク整備、内みのわ運動公園のリニューアル、私立大学の整備は、交流人口の拡大を生むとともに、まちを活性化させ若年層の定着などにもつなげ、定住者の増加にも資する取組だと考える。

**Q** 身近でスポーツをしやすい環境、消防団がまちを守ってくれる、温かい教育環境などの取組が定住につながると思うが、見解を伺う。

**A** 重点取組施策として位置づけた事業を着実に進めていくことで、本市に住んでいてよかった、これからも住み続けたい、そういう方達を増やしていきたいと考えている。

都市公園の幅広い利用方法

**Q** 都市公園の利用には制限があり、子ども達の球技や高齢者のグラウンドゴルフが自由にできない状況が見解を伺う。

**A** ほかの利用者の安全を確保できないことから、球技やグラウンドゴルフなどの利用については制限を設けている。

**Q** 他の自治体では、ボール遊びができる施設やルールを定めているが、見解を伺う。

**A** 内みのわ運動公園のリニューアルの中で、ボール遊びができる場所の整備を予定している。

# 委員会の焦点

※議案名は、議案等の審議結果（4ページ）を参照してください。



各常任委員会では、付託された議案等をそれぞれ審査しました。審査概要は次のとおりです。

## 総務常任委員会



佐藤葉子委員長

審査案件（議案第4号から議案第8号、議案第12号から議案第14号、議案第16号、議案第18号、議案第19号、議案第23号、議案第26号、議案第28号、陳情第2号）

議案第13号（補正予算）

### 債務負担行為の変更

**問** 私立大学への補助金について、起債の要件に適合しているか何う。

**答** 学校法人を含む公共的団体が設置する、住民の利用に供することを目的とする施設の建設に関わる助成に要する費用は起債をすることができるとされており、令和8年度に予定している施設整備の内容が、災害発生時の避難所となる体育館や、一般開放の提案のあったグラウンドや会議室、図書室など、住民の利用に供する施設の整備を予定していることから、起債を活用す

ることとした。

（賛成多数で可決すべきものと決定）

議案第26号

### 清和地域拠点複合施設の設置及び管理に関する条例の改正

**意見** ワークスペースの夜間の使用に  
関し、利用者の安全確保の観点からも  
セキュリティ機能が高い鍵  
の導入や防犯  
カメラの増設  
を検討された  
い。

（全会一致で  
可決すべきも  
のと決定）



「おらがわ」のワークスペース

議案第28号

### 火災予防条例の改正

**意見** 感震ブレイカーの普及促進に関  
し、住宅メーカーと連携して新築時の  
設置を促進することや、既存住宅につ  
いてはブレイカーの更新  
にあわせた設置を促す取  
組を推進されたい。

（全会一致で可決すべき  
ものと決定）



陳情第2号

東京都新宿区において顕在化した  
事例を受けて、政党機関紙の庁舎  
内勧誘行為に関する早期の実態把  
握と再発防止を求める陳情

**反対討論** 心理的圧力による政党機関  
紙の勧誘はもとより、ハラスメント行  
為はあってはならないことではあるが、  
議会自らが我が身を振り返り、改善す  
べきところは改善し、未然防止に努め  
るべきものであって、執行部に対し実  
態調査を求めている本陳情は採択に至  
らない。

（賛成なしで不採択とすべきものと決  
定）

## 教育福祉常任委員会



鶴岡一成委員長

審査案件（議案第3号、議案第9号、  
議案第13号、議案第15号、議案第17号、  
議案第20号から議案第22号、議案第24  
号、議案第37号）

議案第9号

### 小糸スポーツ広場の指定 管理者の指定

**問** 指定管理料が減額となっている理  
由について何う。

**答** 土曜日・日曜日の利用が多いこと  
から、現行の月曜日に加え、グラウン  
ドの養生整備日として金曜日も休場日  
とすることにより、指定管理料が減額  
となっている。

（全会一致で可決すべきものと決定）

議案第13号（補正予算）

### 障害福祉サービス費

**問** 令和7年度の利用件数を何う。

**答** 全体で1万6,200件を超え、  
前年度と比べ800件程度の増加を見  
込んでおり、近年は就労継続支援と共  
同生活援助の利用件数が増加している。  
（賛成多数で可決すべきものと決定）

議案第17号

### 特定乳児等通園支援事業の 運営に関する基準を定める 条例の制定

（内容） 一 とも誰でも通園制度の実施  
に向け新たに条例を制定しようとする  
もので、給付を受ける事業者のサービ  
スの提供方法や事務手続きなど、確認  
基準を定めるもの。

**問** 本市での実施予定について何う。

**答** 本年4月から人見こども園で定員  
を9名として受入れを開始する予定で  
ある。実際の利用状況やニーズを踏ま  
え、民間施設を含めた他の施設での受  
入れについても引き続き検討していく。  
（全会一致で可決すべきものと決定）

議案第21号

## 重度心身障害者(児)福祉 手当支給条例の改正

(内容) 手当の支給対象を20歳以上の重度心身障害者に改め、本市独自で実施していた月額5千円及び2千円の手当を廃止し、県の補助対象である月額8,650円のみ改めるもの。

問 手当の支給状況と周知について伺う。

答 令和6年度の実績として、月額5千円の手当は757名、月額2千円の手当は249名に支給している。ホームページのほか様々な機会をとらえて周知に努めるとともに、対象者には個別に通知し、改正について丁寧な説明を行っていく。

(全会一致で可決すべきものと決定)

議案第22号

## 精神障害者医療費給付条例 の改正

(内容) サービスの提供体制が充実してきていること等を踏まえ、給付対象を入院のみに改めるもの。

問 医療費の給付状況と県内の市町村の状況について伺う。

答 令和6年度の実績は、入院に係る助成については96名、通院に係る助成については950名が利用している。

また、現時点で県内において市町村独自の助成を行っているのは、本市を含め通院に係る助成は5市、入院に係る助成は20市町である。

(全会一致で可決すべきものと決定)

## 建設経済常任委員会



下田 剣吾 委員長

審査案件(議案第10号、議案第11号、議案第13号、議案第25号、議案第27号、議案第29号から議案第31号)

議案第10号

## 君津市物産館の指定管理者 の指定

問 今後の施設の運営の方向性について伺う。

答 利用者アンケート等の内容を踏まえ改善を行っていくこと、季節に応じた商品などの特売日を設けること、また、道の駅だけでなく周辺施設とも連携し地域一帯の集客の向上のための工夫をしていくと伺っている。

意見 利用者からの意見を受け止めて改善していくことが集客や売り上げの増加につながる、ひいては地域のためになるものと考え、利用者の声を広



きみつふるさと物産館

く集めるよう努力されたい。

(全会一致で可決すべきものと決定)

議案第13号(補正予算)

## 君津インターチェンジ周辺 土地利用検討事業

問 予算を減額する理由を伺う。

答 これまでの取組の中で、地権者の理解、企業のニーズ、規制の解除等に関し、一定の方向性が見えてきたことから、業務を市が直接行うことにしたことにより減額したもので、企業や開発事業者へのヒアリング、地元対応、県との調整などを引き続き市で行い、取組が進む中で予算が必要となった際に予算措置を行っていく。

## 市街地整備検討事業

問 予算を減額する理由を伺う。

答 駅周辺等の活性化に関する取組について無償で支援を受けられることとなり、予算を使用せずとも事業を進めることが可能となったため、支援の内容はまちづくりの検討や人材育成、アドバイザーの派遣などであり、具体的な取組について現在協議を行っている。

(全会一致で可決すべきものと決定)

議案第29号

## 第2期君津地域広域廃棄物 処理事業に係る変更契約の 締結

(内容) 上総安房クリーンシステムと

の契約においてインフレスライド請求による建設工事費の増額に加え、契約の相手方が資金調達を行うための追加融資に係る諸費用等の増額に対応するため、変更契約を締結しようとするもの。

問 増額内容の精査はどのように行っているか伺う。

答 富津市に設置されている広域廃棄物処理事業室に職員を派遣し、確認をしているほか、専門的な部分については、アドバイザー契約を結んでいる事業者でも確認を行っている。

(全会一致で可決すべきものと決定)

議案第30号・議案第31号

## 市道路線の認定・変更

(内容) 蔵玉地先の道路について、千葉県による国道465号のバイパス整備が7年度末に完成見込みとなったことから、市道路線の認定及び変更をしようとするもの。

問 市道の認定・変更を行う経緯について伺う。

答 今まで幹線道路であったものが地域の生活道路となり、道路管理が必要となるため、県との協議により、県で補修を行った後に移管を受けるものがある。

問 起点の変更により市道でなくなる道路の管理について伺う。

答 市道認定は廃止するものの、法定外道路として引き続き市で管理を行っていく。

(全会一致で可決すべきものと決定)

# 令和8年度予算



## 【予算審査特別委員】

委員長=高橋 明  
副委員長=小倉 広紀  
委員=満武 琢也、大和ヒロシ、天笠 等、  
大滝 浩介、四宮 安彦、鶴岡 一成、  
松本裕次郎、佐藤 葉子、野上 慎治、  
三浦 道雄

2月26日の本会議において予算審査特別委員会が設置され、3月16日、17日、18日の3日間にわたり、12名の委員が令和8年度一般会計予算及び同補正予算(第1号)をはじめ、各特別会計予算・企業会計予算の審査を行いました。

質疑終了後、委員から議案第32号に関し修正案が提出され、修正案については賛成少数で否決、議案第32号の原案は賛成多数で可決すべきものと決定しました。

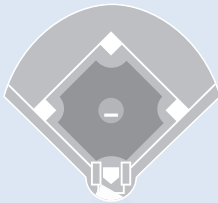
また、議案第33号から議案第35号については賛成多数で、議案第36号及び議案第38号についてはそれぞれ全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

## 令和8年度の一般会計主要事業

### ボールパーク整備推進事業

4億6,687万3千円

千葉ロッテマリーンズのファーム本拠地の移転に伴うボールパークの整備に向け、事業実施に必要な用地の取得及び整備事業者選定のための準備・公募等を行います。



### 内みのわ運動公園リニューアル事業

2億1,527万6千円

「使われ活きる公園」へのリニューアルを図るため、老朽化した施設の更新を進めるとともに、プールの解体撤去工事等を行います。

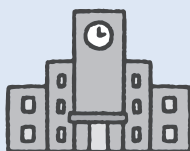


### 私立大学施設整備補助事業



8億円

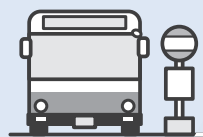
旧大和田小学校を活用して開校予定の日本ウェルネススポーツ大学君津キャンパス周辺の特性を生かし、市民にも開かれた教育拠点の形成と私立大学の教育環境充実を図るため、施設整備費に対し補助金を交付します。



### JR久留里線代替交通整備事業

1,083万5千円

JR久留里線(久留里~上総亀山間)の鉄道事業廃止に対応し、バスによる代替交通を運行するため、停留所の設置やバス事業者への運行業務委託等を行います。(補正予算)



### 給食賄材料費

3,083万円

国の交付金を活用し、中学校給食費を無償化するための財源更正及び賄材料費の物価高騰に対応します。(補正予算)



# 予算審査

## 特別委員会の概要

議案第32号

### 一般会計予算

**問** 令和8年度の予算編成方針について伺う。

**答** 財政調整基金からの繰入れは最小限としつつ、歳入に見合った歳出とする財政規律の徹底と、未来への投資の両立を図ったものである。また、扶助費の確保は最優先とし、物件費や補助費については、10パーセント程度の削減を目標としつつ、事務事業総点検等を踏まえた事業の廃止や見直しを行ったほか、各事業の効果や緊急性、継続性などの観点から、事業内容の精査を行ったものである。

**問** 私立大学施設整備補助事業に、補助金交付と起債の流れについて伺う。

**答** 施設整備に充てるための補助という性質や、大学からの希望を考慮して概算払いを行うもので、4月以降に交付申請を受けて8億円を支出したのち、12月までに実績報告を受け、精算を行う。また、実績に応じて起債を行い、補助の財源とする。

**問** 内みのわ運動公園リニューアル事業に、令和8年度予算の内容を伺う。

**答** プールの撤去や、選定した事業者



高橋明委員長



内みのわ運動公園  
リニューアルイメージ図

と協定を締結する上で必要となる、設計等の書類の精査に係る支援業務の予算を計上している。

**問** 情報発信施設等維持管理事業に、令和8年度に予定している事業を伺う。

**答** 令和8年5月下旬から気象庁において新たな防災気象情報の運用が開始されることから、防災アプリにおけるアラートを活用した防災情報の発信機能の改修を行う。

**問** (仮称) 貞元総合公園整備工事の債務負担行為を当初予算において設定することの必要性について伺う。

**答** 令和8年度の早い段階で事業者募集の手続きを進めるにあたり、整備費の案を提示する必要があるほか、千葉県との起債の協議の際、事業実施の確実性が担保されているべきであることから、当初予算での債務負担行為の設定が必要と判断した。また、ポールパーク整備に係る基本計画については、6月以降に示す予定である。

議案第33号

### 国民健康保険特別会計予算

**問** 子ども・子育て支援納付金について、概要と予算への影響について伺う。

**答** 児童手当の拡充などの子育て支援の実施や拡充のためにすべての世代の方が負担することとなるもので、国民健康保険や後期高齢者医療など、加入する医療保険の保険料と併せて新たに徴収するもので、国民健康保険税として約4,200万円の増額を見込んでいる。

議案第36号

### 農業集落排水事業会計予算

**問** 今後の事業の見直しについて伺う。

**答** 生活環境の改善と水質保全を図るため、モデル地区を選定し、集落排水事業として施設を整備したものであるが、性能の高い合併処理浄化槽も普及してきたこと、人口減少に伴い、使用料収入も減少少してきていることから、他自治体の先進事例を参考にしつつ、モデル地区選定の際には地域の協力をいただいた経緯も十分に踏まえ、今後の事業の方向性について検討していく。

議案第38号

### 一般会計補正予算(第1号)

**問** JR久留里線代替交通整備事業に、事業内容を伺う。

**答** JR久留里線の久留里・上総亀山間の鉄道事業廃止に対応するため、代替バスの運行費用として、停留所の設

置、時刻表や路線図等を掲載したパンフレットの作成、バスの運行委託に係る費用を計上したものの、バスの運行は、鉄道廃止前の令和9年3月中に開始する予定である。

### 修正案の概要

議案第32号の(仮称)貞元総合公園整備工事に係る債務負担行為の設定について、債務負担行為の設定時期及び金額について検証が不十分であることから、債務負担行為から当該事業に係る内容を削るべき。

### 委員会討論



**反対** 議案第32号について、公民館の人員削減や料金の引上げ、利用時間の短縮などは市民サービスの低下とともに職員のモチベーションの低下を招くおそれがあり賛成できない。また、議案第33号ないし議案第35号の各特別会計予算については、税率の引上げ等が含まれており賛成できない。

**賛成** 議案第32号について、財政規律の徹底により財政調整基金への依存からの脱却が図られているものと理解する。ポールパーク整備における債務負担行為に関しては、仮の金額であり不明朗な部分があるものの、基本計画の策定後には根拠のある金額が提示され、債務負担行為の変更として再度議会で審議する場があると考えることから、現状では事業を推進すべきと考える。

## 建設経済常任委員会

令和8年1月14日(水)～15日(木)

視察先 山形県寒河江市、山形県山形市

## 1 慈恩寺テラスについて（寒河江市）

久留里城周辺の活性化を目指す本市にとって、最も重要な課題は歴史資源をいかに次世代へ繋ぎ、観光資源として磨き上げるかである。山形県寒河江市では「慈恩寺テラス」を整備し、アニメ映像やプロジェクションマッピングを活用し、わかりやすく歴史と慈恩寺の魅力を可視化している。担当者から、複数の国の補助金を組み合わせた財源確保の工夫や、体験型展示による集客手法についてお話を聞くことができた。国指定重要文化財のある鹿野山神野寺を含む本市の歴史遺産活用においても、単なる保存に留まらず、地域活性化に結び付けていく施策の必要性を改めて認識した。



## 2 農業DX（デジタルトランスフォーメーション）について（山形市）

スマート農業への取組が急務である本市にとっての理想形として、山形市が推進する農業DXの現場を視察した。既存のトラクターなどの農機に後付け可能な自動操舵システムや、スマートフォンで水門を遠隔管理する低コストな仕組みなど、現場の負担を即効性をもって軽減する最新技術を直接見る事ができた。また、機械導入だけでなく、操作の研修などのソフト面でのサポート体制についても学ぶことができた。高齢化が進む本市の農業現場において、低予算かつ現実的で持続可能な農業DXの在り方は、山形市が進む農地の大区画化と合わせ、今後の本市の農業施策に極めて有効な知見となった。



## スマートフォン用アプリで 「議会だより」をご覧いただけます。

アプリをダウンロードいただくことで、いつでもどこでもスマホやタブレットなどで「議会だより」を閲覧することができます。

※いずれもアプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者の負担になります。



Catalog  
Pocket

- アプリをダウンロードいただいたら、起動して「君津市」と検索してください。
- 「日本語」で読むを選択すると誌面を読むことができます。

Android用  
スマホ・  
タブレット



iOS用  
iPhone・  
iPadなど



マチイロ

- アプリをダウンロードいただいたら、起動して「お住まいの地域」で君津市を選択してください。
- スクラップ機能で範囲を指定して、記事の気になる部分を指定して切り抜き、画像として保存できます。

Android用  
スマホ・  
タブレット



iOS用  
iPhone・  
iPadなど



令和8年 第2回定例会 6月8日(月) 開会予定です



### きみつ市議会だより編集委員

- 委員長／松本 裕次郎
- 副委員長／佐藤 葉子
- 委員／鶴岡 一成 下田 剣吾 野上 慎治

- 発行／令和8年5月1日
- 編集／きみつ市議会だより編集委員会  
〒299-1192 君津市久保2-13-1 君津市議会事務局
- TEL 0439-56-1497
- URL <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/>